

～成功は、結果であって

目的ではない～【ギュスターヴ・フローベール】

これはまだ**始まり**に過ぎない

体育祭が終わり、1週間が過ぎました。管理棟の2階では、進路に向けて自己PR作成や就職先を3社決定するために、放課後に残る姿がよく目に映ります。その中で、体育祭に向けて努力したことを自己PRに入れている人は多いのではないのでしょうか。それほど、皆さんにとって今回の体育祭は大きな影響となったということです。この経験は本当に今後の人生に大きな力となるでしょう。

「忘れられない光景」

K・I（3年1組）

僕の記憶に今も焼きついて忘れられない光景は、リレーの時の、緑・青・赤と綺麗に並んで応援する皆の姿です。あの光景は、応援席にいる皆には見えない、トラックを走る者の特権だと思います。あんなに綺麗な景色は今まで見たことありません。僕は、皆の姿に鼓舞され、全速力でトラックを走ることができました。

僕は43期応援団が歴代最強で最高の応援団だと思います。練習を積み重ねてきた演舞はどの回もとても感動したし、応援団がいたからこそ、皆が一丸となって応援できたと思います。体育祭は他の誰でもなく自分たち西成生全員で作るものだと教えてくれました。

次は文化祭で「最高の青春」を目標に、全員一丸となって突き進みましょう！



「なんでこんなに先生は厳しいんやろ」

M・R（3年2組）

3年間の中で最高の体育祭だった。この2年間、「なんで3年の先生だけ厳しいんやろ」と思っていた。しかし、体育祭が終わって気づいた。先生に今まで言われていたことは、めっちゃ意味があるんだなと。そのお陰で、仲の良い友達だけでワイワイするのではなく、全学年皆で体育祭を盛り上げられたと思う。

私は応援団として前に立って応援したが、他の生徒も前に出て応援してくれた。綱引きのとき、皆で近くまで行って必死に応援したり、私が出場したスウェーデンリレーの時には、最後の種目にも関わらず赤青緑とも立ち上がって大きい声でひたすら応援してくれた。

この感動は、今後忘れられない思い出になると思う。最高の体育祭だった。



「『参加できた』体育祭」

Y・R（3年3組）

体育祭に参加して思ったことは、応援団がいなければここまで盛り上がりなかったということです。たとえば、テントから見ていても、自分も応援しなくちゃと思わせる力がものすごくありました。実際に一緒に応援してみると、皆すごく声が出ていてそれに引っ張られるように団全体の声も上がっているように思えました。綱引きのときはクラスメートの力もあってとても楽しく、そして全力で出場できました。その結果、全勝しました。勝った事は確かに嬉しかったですが、僕は出場できたことが、なにより嬉しかったです。3年生の学年種目である大縄跳びでは、自分は飛べなくても声を出すことに全力を注ぎ、皆とともに練習を続けてきました。その結果、前評判を覆し1位を獲得することができました。僕は、とても驚き、そして嬉しく思いました。今年の体育祭は、3年間で1番全力を出し切れたものだと思います。

僕は、応援団の頑張りや、生徒皆の全力の応援を感じて、次の文化祭を頑張ろうと思いました。高校生活最後の文化祭に向けて、自分もしっかりと力を出し、最高の文化祭にできるように、日々の学校生活から力をつけていきたいです。



「青い初夏」

S・A（3年4組）

今年の体育祭は、西成高校3年間の体育祭の中で1番記憶に残った。今までの体育祭との大きな違いは、全学年皆で競技中の応援をしたところだ。私は、当初乗り気ではなかったが、皆の応援を見ているうちにだんだんとテンションが上がってきて、気づいたら、白線を飛び出して怒られてしまうほど夢中になって応援していた。

応援団の完成度の高い演舞、競技中の応援のリードには鳥肌が立った。特に、最後のスウェーデンリレーのときの応援の一体感は、胸が震えるほど感動した。一生忘れることができない時間を過ごすことができた。大縄跳びは皆悔しい気持ちだったと思う。しかし、大縄跳びの本番の中で、皆と一緒に発したかけ声に感動した。私の「行くで！！」という声に29人の「せーの！！」が返ってきた。「ドンマイ！もう一回！」。時間いっぱいまで私は叫んだ。大縄跳びでの声出しは4組が優勝だ。



「みーどだーん、ファイヤー！！」

A・H（3年5組）

人生で最後かもしれない体育祭は、1・2年のときよりも断トツに楽しかった。1・2年のときは、一生懸命応援するのが恥ずかしいと思ったり、ダサいと思っていた。だから、1・2年のとき、テントの中でスマホばかりいじっていたり、テントの後ろの方で写真を撮ったりしていた。でも、3年になってスマホよりも、友達と写真を撮ることよりも、応援している方が楽しいし、大切だと思った。赤団、青団には無い、緑団だけの『みーどだーん ファイヤー！』を1年生も2年生も楽しく言っているのが素晴らしい光景だった。1・2年のときとは違う、一生懸命応援することは『ださい』ではなく、『カッコイイ』に変わった。1・2年のときに『カッコイイ』と思っていたことは、今になると『ダサい』。今年の体育祭は、みんながみんな1年前とは違い、仲間が競技に出ていたらしっかり応援する。私は、今年の体育祭が1番楽しかったです。『みーどだーん ファイヤー！』は今でも心に残っています。

